



平成29年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月5日

上場取引所 東

上場会社名 マルカキカイ株式会社

コード番号 7594 URL <http://www.maruka.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹下 敏章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員管理本部長 (氏名) 飯田 邦彦 TEL 072-625-6551

四半期報告書提出予定日 平成29年7月11日 配当支払開始予定日 平成29年8月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年11月期第2四半期の連結業績（平成28年12月1日～平成29年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年11月期第2四半期	24,668	0.9	823	△14.8	958	4.7	613	7.2
28年11月期第2四半期	24,441	△3.4	965	△20.2	915	△35.7	572	△35.9

(注) 包括利益 29年11月期第2四半期 929百万円 (216.1%) 28年11月期第2四半期 294百万円 (△80.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年11月期第2四半期	71.43	—
28年11月期第2四半期	65.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年11月期第2四半期	37,174	19,228	50.2	2,183.54
28年11月期	37,321	18,681	48.6	2,099.67

(参考) 自己資本 29年11月期第2四半期 18,649百万円 28年11月期 18,142百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年11月期	—	15.00	—	22.00	37.00
29年11月期	—	17.00	—	—	—
29年11月期(予想)	—	—	—	22.00	39.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 平成29年11月期の連結業績予想（平成28年12月1日～平成29年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	9.0	1,800	8.6	1,970	15.2	1,250	34.4	144.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年11月期2Q	9,327,700株	28年11月期	9,327,700株
② 期末自己株式数	29年11月期2Q	786,881株	28年11月期	686,870株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年11月期2Q	8,583,684株	28年11月期2Q	8,798,290株

（注）期末自己株式には「役員向け株式給付信託」が保有する当社株式（平成29年11月期第2四半期 110,000株）が含まれております。また、「役員向け株式給付信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数（四半期累計）の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による各種政策により雇用所得情勢が堅調に推移していることを受けて個人消費が持ち直し、企業収益も改善傾向にあるなど、景気は緩やかな回復基調が続きました。しかし一方で、原油価格の下落一服、年初来の円高による輸出伸び悩み、そして海外の政治動向に対する根強い不透明感により、設備投資に対して慎重な動きとなりました。

海外では、アメリカ経済は景気拡大基調が継続している一方で、英国のEU離脱問題や、中国経済の成長鈍化、アジア新興国経済の景気減速等による景気の下押し懸念が続く情勢であり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、「日米中亜4極体制 マルカグローバルイノベーション 新たな創造更なる飛躍」を今年度のテーマに、中期経営計画の各種施策に取り組んでおります。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は24,668百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は823百万円（同14.8%減）、経常利益は円安の影響で為替差損が減少したことにより958百万円（同4.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は613百万円（同7.2%増）となり、売上高をはじめ、利益面においても当初計画どおり推移いたしました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

[産業機械部門]

国内販売は引き続き受注が増加傾向にありましたが、売上転化まで時間がかかることから前年同期に比べ売上が落ち込む結果となりました。

米州はこれまで伸び悩んでいた工作機械の販売が自動車業界を中心に好調に推移いたしました。中国およびアジア地域は、景気減速の影響等により依然として設備投資意欲が横ばいの地域もある中、マレーシアでは自動車業界向けの部品販売事業が好調でした。またインドネシアでは自動車業界向けで工作機械の販売が伸長するなど、一部地域は回復傾向にありました。しかしながら営業利益は、人員増に伴う人件費が増加したため前年同期比でマイナスとなりました。

この結果、当部門の売上高は20,483百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は1,153百万円（同4.7%減）となりました。

[建設機械部門]

建設機械部門では、公共投資が緩やかな回復傾向を継続していますが、民間の建設投資や復興事業に一服感が見られるなど、全体として厳しい状況が続いております。このような状況の中、主力のクレーンの販売が基礎業界を中心に大きく落ち込みました。

この結果、当部門の売上高は4,124百万円（前年同期比9.8%減）、営業利益は134百万円（同36.9%減）となりました。

[その他]

当セグメントは、保険部門の業績を示しております。

当部門の売上高は61百万円（前年同期比38.9%増）、営業利益は13百万円（同176.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は37,174百万円となり、前連結会計年度末と比較して147百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産の増加（前期末比1,355百万円増）、受取手形及び売掛金の減少（同1,526百万円減）によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は17,946百万円となり、前連結会計年度末と比較して694百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の減少（前期末比2,210百万円減）、電子記録債務の増加（同1,305百万円増）、短期借入金の増加（同336百万円増）によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末に純資産は19,228百万円となり、前連結会計年度末と比較して546百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上（613百万円）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年1月13日の「平成28年11月期決算短信」において公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,285,934	9,139,277
受取手形及び売掛金	13,874,536	12,347,678
電子記録債権	1,325,783	1,721,859
有価証券	500,000	500,000
商品及び製品	2,353,860	2,576,589
仕掛品	304,341	282,012
原材料及び貯蔵品	25,213	25,287
繰延税金資産	260,840	264,924
その他	2,047,874	1,607,466
貸倒引当金	△60,270	△111,858
流動資産合計	29,918,114	28,353,236
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,651,536	2,872,546
減価償却累計額	△708,747	△740,828
建物及び構築物(純額)	942,789	2,131,718
機械装置及び運搬具	444,318	486,176
減価償却累計額	△363,167	△387,181
機械装置及び運搬具(純額)	81,150	98,995
工具、器具及び備品	334,764	362,334
減価償却累計額	△269,849	△285,766
工具、器具及び備品(純額)	64,915	76,567
貸与資産	2,627,719	2,468,482
減価償却累計額	△1,633,154	△1,490,470
貸与資産(純額)	994,565	978,012
リース資産	61,079	61,079
減価償却累計額	△41,278	△44,853
リース資産(純額)	19,800	16,226
土地	2,930,257	3,354,324
建設仮勘定	267,504	673
有形固定資産合計	5,300,983	6,656,518
無形固定資産		
のれん	398,149	388,079
その他	64,268	51,440
無形固定資産合計	462,418	439,520
投資その他の資産		
投資有価証券	1,217,910	1,301,454
繰延税金資産	165,770	176,816
その他	321,919	309,474
貸倒引当金	△65,240	△62,605
投資その他の資産合計	1,640,360	1,725,140
固定資産合計	7,403,761	8,821,178
資産合計	37,321,876	37,174,415

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,792,800	8,582,529
電子記録債務	4,272,419	5,578,256
短期借入金	275,259	612,004
1年内返済予定の長期借入金	88,063	85,429
未払法人税等	179,363	342,784
その他	2,102,803	1,837,072
流動負債合計	17,710,709	17,038,077
固定負債		
長期借入金	381,557	334,564
繰延税金負債	101,135	128,843
役員退職慰労引当金	18,716	24,964
退職給付に係る負債	86,827	78,264
再評価に係る繰延税金負債	125,118	125,118
その他	216,416	216,247
固定負債合計	929,771	908,001
負債合計	18,640,480	17,946,078
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,414,415	1,414,415
資本剰余金	1,325,178	1,325,178
利益剰余金	16,028,348	16,448,936
自己株式	△882,099	△1,071,518
株主資本合計	17,885,842	18,117,012
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	241,183	298,264
繰延ヘッジ損益	△12,034	△178
土地再評価差額金	249,072	249,072
為替換算調整勘定	△138,575	59,552
退職給付に係る調整累計額	△82,627	△74,495
その他の包括利益累計額合計	257,019	532,215
非支配株主持分	538,533	579,108
純資産合計	18,681,395	19,228,336
負債純資産合計	37,321,876	37,174,415

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)
売上高	24,441,329	24,668,930
売上原価	20,775,235	21,068,768
売上総利益	3,666,093	3,600,161
割賦販売未実現利益戻入額	14,518	14,420
割賦販売未実現利益繰入額	9,782	8,301
差引売上総利益	3,670,829	3,606,280
販売費及び一般管理費	2,705,014	2,783,049
営業利益	965,815	823,231
営業外収益		
受取利息	26,818	21,456
受取配当金	8,054	8,595
固定資産売却益	5,844	62,167
為替差益	—	7,706
不動産賃貸料	47,939	50,329
雑収入	21,582	25,609
営業外収益合計	110,240	175,865
営業外費用		
支払利息	11,689	11,380
不動産賃貸費用	25,320	21,595
為替差損	122,640	—
雑損失	878	7,214
営業外費用合計	160,528	40,190
経常利益	915,526	958,906
特別利益		
固定資産売却益	698	9
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	698	10
特別損失		
固定資産売却損	1,375	—
固定資産除却損	—	721
投資有価証券評価損	—	4,186
ゴルフ会員権評価損	586	—
特別損失合計	1,961	4,908
税金等調整前四半期純利益	914,262	954,008
法人税、住民税及び事業税	357,044	340,036
法人税等合計	357,044	340,036
四半期純利益	557,217	613,972
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△14,820	866
親会社株主に帰属する四半期純利益	572,038	613,106

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年12月1日 至 平成28年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年12月1日 至 平成29年5月31日)
四半期純利益	557,217	613,972
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△63,060	57,036
繰延ヘッジ損益	△2,213	11,855
土地再評価差額金	8,911	—
為替換算調整勘定	△213,324	238,511
退職給付に係る調整額	6,509	8,148
その他の包括利益合計	△263,176	315,553
四半期包括利益	294,041	929,525
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	343,442	888,302
非支配株主に係る四半期包括利益	△49,400	41,222

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年12月1日至平成28年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業機械	建設機械	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	19,824,055	4,573,269	24,397,325	44,003	24,441,329	—	24,441,329
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	19,824,055	4,573,269	24,397,325	44,003	24,441,329	—	24,441,329
セグメント利益	1,209,459	212,445	1,421,904	5,049	1,426,954	△461,138	965,815

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険の代理店業等を行っております。

2. セグメント利益の調整額△461,138千円は、各セグメントに帰属していない当社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年12月1日至平成29年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業機械	建設機械	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	20,483,171	4,124,643	24,607,814	61,115	24,668,930	—	24,668,930
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	20,483,171	4,124,643	24,607,814	61,115	24,668,930	—	24,668,930
セグメント利益	1,153,059	134,104	1,287,163	13,967	1,301,131	△477,900	823,231

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険の代理店業等を行っております。

2. セグメント利益の調整額△477,900千円は、各セグメントに帰属していない当社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。